

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36449	
事業名	みどり豊かなまちづくり推進費						
評価担当課	所属名	建)みどりの推 みどりの管理課					
	課長名	高本 俊	担当者名	鈴木 美優	電話番号	011-211-2522	
施策名	主	持続可能な都市ネットワーク_2_みどり豊かな空間ネットワーク					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	市民や事業者への緑化意識の普及と向上を図り、協働による民有地の緑化を進める。				
		長期	みどり豊かな潤いのあるまちづくりを進める。都心部のみどりのボリュームアップを図る。				
	取組内容	【目的】 事業者が都心部で行う緑化に支援を行い、都心部における民有地緑化の推進を図る。 【内容】 さっぽろ都心みどりのまちづくり助成制度：植栽購入費や基盤整備費など対象経費の3分の2を助成(上限30,000千円)。各種広報や申請者等へのアンケート調査も実施。					
実施結果	助成制度をPRするため、制度の概要について市内約500社へダイレクトメールの発送、報道機関へのプレスリリース、本市HP上での掲載を行った。また、より利用しやすい制度とするため調査業務の発注を行い、事業者へのアンケート調査等を行ったうえで制度改正内容について検討し、要綱の改正を行った。						
事業実施における工夫点	より利用しやすい制度とすることを目的に、事業者や市民に対して調査業務を行い、要綱の改正を行った。						
対象者	都心部で民有地緑化を行う事業者、市民、観光客			開始	平成28年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等	札幌市緑の保全と創出に関する条例、さっぽろ都心みどりのまちづくり助成金交付要綱						
他都市の状況	多くの都市において、民有地緑化を促進するための助成制度がある(他政令市19市中17市にて実施)。						

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	3,195	27,000	25,017	27,000	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	1.3	1.2	1.2	1.0	
人件費	9,360	8,640	8,640	7,200	
計(事業費+人件費)	12,555	35,640	33,657	34,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	アンケート調査: 35千円 助成金: 24,982千円			
	令和4年度予算	パンフレット等印刷費: 42千円 アンケート調査委託費: 100千円 助成金: 26,858千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	助成件数(件)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	0	3	3	5
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	みどり空間の創出箇所数(累計)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	10	13	13	18
成果指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	前年度に行った調査・要綱の改正により、3件の申請につながった。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	都心部では屋内屋外ともにみどりが少ないため、本制度で都心部の民有地を対象範囲にしていることは適切といえる。また、緑化工事では、初期に多額の費用を要するため、基盤工事費も含めた緑化施設全般を助成対象に含めていることは、事業者が緑化を行う後押しになると考える。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	法令等の基準を超えた緑化については、土地所有者の判断にゆだねられており、工事に要する多額の経費が緑化実施の足どめになっていることから、本市では平成25年から本制度により土地所有者の費用負担を軽減し、民有地緑化の推進につなげている。利用しやすい制度となるよう、民間事業者へのヒアリング、庁内での連携など、効率的な運用をしている。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	過年度に申請者へのアンケート調査を実施した結果、緑化を実施するきっかけとなり、竣工した緑化施設に満足しているとの回答が得られている。		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	問い合わせが多数あることから本制度は認知されてきているといえるが、初期投資以外に維持管理費を懸念して導入が進まないことも一因と考えられる。優良事例の紹介等により、投入資源に対する導入のメリットをPRするとともに、ボランティア制度とつながりを持たせるなど、賑わい創出の後押しとなる手法も検討する。			
前回の評価	<input type="radio"/> A <input checked="" type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	例年発送しているダイレクトメールの宛先見直しのほか、開発事業についての情報提供等庁内他部局と連携した。		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	前年度に行った要綱改正により、3件の助成を行い、都心部に新たに緑化施設が整備された。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="radio"/> 改善 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 広報の際に優良事例の紹介や導入のメリットを入れ込む等、事業者への意欲を高めるよう努める。広く事業者へ助成できる制度となるよう検討する。		
	予算	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 事業内容の検証等を踏まえて、適切な予算措置を行う。		見直し効果額 0 千円